

第 8 次大和市総合計画の進行管理に対する意見 (第 5 回総合計画審議会 審議分)

5-2-1 「まちの中を快適に移動している」について

- 高齢者が増加している中では、地域公共交通の重要性はいつそう高まるものと考えられます。地域の自立性も促しつつ、地域ごとの状況を十分考慮した地域公共交通のあり方を検討してください。
- 自転車走行中における携帯電話の使用など危険な行為が増えています。自転車利用のマナー啓発については、子供だけでなく大人に対しても実施する必要があります。

6-1-1 「生涯学習に取り組む人が増えている」について

- 生涯学習センターの利用率から見ても、市民の生涯学習に対するニーズが高い状況が伺えます。特別教室を活用した学校開放について、積極的に PR し、更なる生涯学習の推進に努めてください。
- ボランティア講師の登録者数については着実に増加しているものの、実際には講師の十分な活用に繋がっていない状況にあります。市民が気軽に制度を利用できるよう PR に努めてください。

6-1-2 「スポーツを楽しむ人が増えている」について

- 健康都市宣言を行っている本市においては、子どもからお年寄りまで、多くの市民がスポーツに親しむことができる環境づくりが必要です。健康づくりに繋がるスポーツのあり方や事業展開について、積極的に検討を行う必要があります。

6-2-1 「多様な芸術や文化が育っている」について

- 文化活動を行う市民団体に対し、市では生涯学習振興基金を財源として補助を行っています。近年では、申請団体が固定化する傾向にあることから、より多くの団体が制度を利用できるように周知方法などを検討してください。
- 専門家の説明を聞きながら芸術作品を鑑賞することで、市民がより芸術に親しむことができると考えます。「YAMATO イラストレーションデザインコンペ」の審査を公開にするなど、市民が芸術に触れる機会を増やす工夫をしてください。

6-2-2 「郷土の文化がしっかりと引き継がれている」について

- 下鶴間ふるさと館など平日の来場者が少ない施設については、他市の例などを参考に開館日、開館時間などのさらなる検討を行い、より効率的な管理運営に努めてください。
- 有形文化財の活用は様々な制約があるとは思いますが、単に保存するだけにとどまることなく、学習用としての活用や様々な展示方法を考えるなど、市民の目に触れる機会の充実が必要と考えます。